

絆～加茂

発行・編集

社会福祉法人

川西市社会福祉協議会

加茂小地区福祉委員会

委員長 藤田 喜志夫

『委員長10年経過・振り返って』



加茂小地区福祉委員会
委員長 藤田 喜志夫

新年明けましておめでとうございませう。

地域の皆様におかれましては、穏やかに清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げますが、元旦には震度7の能登半島地震が発生、多くの犠牲者、家屋崩壊など地震大国の現実をみる新年となり悲惨なスタートとなりました。被災地域の皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

地域の皆様、日頃は福祉活動にご支援、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍で自由に活動出来ない日々が続きましたが、コロナも5類に移行し福祉活動も順次再開して参りました。

私事になりますが、平成25年度加茂小地区福祉委員会委員長に就任し10年経過して参りましたが、その間、数々の行事に挑戦して参りましたが、主にふれあい交流畑づくりでさつまいも植え、収穫祭・子供と餅つき大会・「カフェ憩い」開設・夏休み工作づくり等印象深く、又居場所づくりとして、囲碁、将棋会・脳トレ麻雀会・サロン会・グランドゴルフ部会等立ち上げ、盛況に継続しています。福祉委員、一般支援者、参加者の皆様の

ご支援のおかげです。高齢化が進み行事内容も変化して参りました。フレイブル予防に軽運動を取り入れポッチャ大会、モルック大会、囲碁ボール大会、BGゲーム大会等ふれあい、つながりを大切にしています。

平成18年8月開設した4拠点サロン会会場が川西市管理下でしたが、この度地域で管理運営となる模様、今後の対応が重要課題となり地域の皆様と審議して参ります。

第4次地区福祉計画推進期間も令和5年度で終わり、第5次地区福祉計画が令和6年度よりスタートとなりますが、第5次策定委員会を設け、これからは若い方々に計画推進をお願いして参ります。地区福祉活動を盛況化して頂くため、地域の皆様の温かい、ご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとって素晴らしい年になりますよう祈念申しあげ、新年のご挨拶と致します。



『この1年を活かすために』



加茂小コミュニティ
推進協議会
会長 永田 又嗣

新年あけましておめでと
うございます。加茂小学校
地域内にお住まいの皆様
におかれましては健やかに新
春をお迎えのこととお喜び
申し上げます。

一方で、能登半島地震で
被災された皆様に心よりお
見舞い申し上げます。

昨年を振り返りますとコ
ロナも5類に移行しコミュ
ニティ活動もコロナ禍以前
に戻りつつあり、加茂まつ
り等のイベントでは、多く
の皆様に参加いただき、ふ
れあいの和が広がった年
でした。

本年4月には藤田委員長
からカフェ「憩い」が再開



されると伺っており以前に
増して暖かい雰囲気の中、
盛会になることを願って
います。

コミュニティ活動も令和
6年度は川西市第6次総合
計画に基づき、令和10年
までの第3期地域別構想の計
画を建て地域の皆様にとつ
て安心安全で生きがいのある
魅力的な地域になるよう
努めてまいります。

コミュニティ活動には福
祉委員皆様のお力添えが欠
かせません、委員の皆様には
お身体に留意され、福祉
の向上のためご支援とご協
力を賜りますよう、よろし
くお願いいたします。

～第5次地区福祉計画を迎えるにあたって～

副委員長 尾野上 一夫



加茂小地区にお住いの皆さんこんにちは！尾野上一夫です。
お変わりありませんか。

さて、令和5年春以降コロナ感染症が5類に移行され、徐々にではありますが地区福祉委員会は正常な活動へ戻りつつあります。現在は、第4次地区福祉計画に基づいて活動しています。この度、令和6年4月スタートする次期計画に向けて自治会長・福祉委員さまへ会議・アンケート調査等実施をして「第5次地区福祉計画」を策定しました。しかし前期計画はコロナ禍期間の為、未消化分が多々ありました。これからさき5年間の過程で地域にお住いの皆さま方の「お力=ご意見」をお借りして芽を出し、花を咲かせる活動を見だし、臨機応変に対応し、実践して参りたいと思っています。

これから少子高齢化社会へと向かいますが、今後とも「加茂小地区“あい”」をよろしく願いいたします。

夏休み工作づくりに参加して

小橋 洋子



自治会長に誘ってもらい、はじめて参加しました。最初はぬり絵やお絵かきをしたりするのかなと思っていたら、たくさんの工作キットがあり、みんな悩みに悩んでお気に入りの一個をきめました。

長女と長男と次男は「時計」小4の次女は友達と一緒に、かわいい「家の形の小物入れ」を選びました。

次男は六歳で周りに迷惑をかけないか心配でしたが、福祉委員の方たちが優しく手伝ってくれ、楽しそうにシールを貼ったり組み立てたりと集中して作っていました。シールもビックリするほど時計に貼っていたのに、近くにあった会長さんに「ここも

も貼れるで」「もっと貼りや」って声をかけてもらい嬉しそうにシールを貼っていました。

工作に使う文房具やいろいろな種類のシールにマスキングテープを用意してくれ、結局、子ども達は一人2個ずつ作らせてもらいました。

つるし飾りに時計、かわいい小物入れなどなど、素敵な作品ができました。

近所の人たちと話しながら、工作づくりをした小6の息子も「久しぶりに夢中になる時間を過ごせた」と言ってくれたので、参加して良かったと思いました。

誘ってくれた会長さん、ありがとうございました。

福祉委員研修会に参加して

主任児童委員 菊地 由佳

九月十四日、初めての福祉研修会に参加させて頂きました。

今回は三木市にある「兵庫耐震工学研究センター」へ総勢32人で見学に行きました。

まず、映像で施設を紹介頂いたあと、実際の実験施設を見学させて頂きました。ここには、実物大での実験をするための試験棟や、人工的に揺れを発生させるための大規模な油圧装置など様々な施設がありました。

阪神淡路大震災では、多くの構造物が倒壊し、甚大な被害が発生しました。今後も想定できないレベルの震災が、起こる可能性もあり、少しでも

被害の軽減や不安を解消し、安心・安全な生活を守るために、耐震技術を進めたいと思っています。

日々の研究で住居や暮らしを支えてもらいながら、私達自身も震災に対するの準備や行動できる意識を持っておきたいと思っています。



代表 田野 勉

居場所支援活動として脳トレ麻雀会を立ち上げて2年が経とうとしています。高齢化が進みふれあい交流と、認知症予防、脳の活性化を目標に始めて、皆さんの協力により順調にスタートする事が出来ました。初めての事で試行錯誤はありましたが、現在は落ち着きつつあります。

脳トレ麻雀会 スタートして…

麻雀台は3台用意していますが、現況は2台位の使用が多く半端人数の場合は横で見ているのも勉強になり面白いです。交代しながら楽しんでいきます。

開催日は第一、第三水曜日・土曜日と第二、第四火曜日に、交流会館で午後一時～四時半迄使用する事ができます。但し会館使用料として百円頂いています。

地域の皆さん、参加出来る日があれば是非立ち寄ってみませんか？

仲良く、楽しい場所である事を目指して皆さんと一緒に、作って行きましょう。



社協 地区福祉担当

赤木 敦得

＜ 加茂小地区ワークショップの感想 ＞

加茂小地区にお住いの皆様には平素より、地域福祉の活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、去る7月11日に市と社協共催のワークショップが加茂小地区区内で開催され、様々な関係機関から多くの方々にご参加いただき誠にありがとうございました。

「地域づくり」「高齢者」「障がい者」「子ども」のテーマから、加茂小地区区内で「もっとよくできること」「そのための取り組み」のご意見をいただきました。

その中には「子ども達がおもいきり遊べる公園などの場所が今は少ない!」と発言があり、そこから「学校のグラウンドを土日も開放してもらえへんかな?」「あそこの空き地使おうや!」などいろんな意見がどんどん出てきて、机に手をつきながら身を乗り出し、白熱しすぎて時間切れでも続くほどに…!

このような普段思っている何気ない意見を、地域で話し合っ実現出来るよう、ともに考えていきたいと思ひます。

